

令和7年度 喜来幼稚園評価について

令和7年度の幼稚園評価を行うにあたり、職員・保護者にアンケートを実施しました。職員のアンケート結果を基にして、保護者のアンケート結果を重ね合わせて幼稚園評価を行い、本年度の重点目標の達成状況と来年度に向けての課題を明らかにしました。

○ 本年度の重点目標 「様々な体験や人とのかかわりをとおして心豊かで元気な子どもを育てる」

○ 評価結果の表示について

- A 十分達成できている（積極的肯定90%以上） B ほぼ達成できている（肯定的評価75%以上）
C あまり達成できていない（肯定的評50%以上）D 達成できていない（肯定的評価50%未満）

本年度の重点目標の達成状況を確認するために、実践事項である（1）健康な心と体づくり（2）魅力ある幼稚園（3）認め合える仲間づくり（4）地域・家庭との連携（5）安全教育の実践の5つの事項にかかわる項目について、職員と保護者にアンケートを実施し、保育を振り返り、項目ごとに評価を行いました。

○ 実践事項

※ 数字(%)は、アンケート評価の肯定的評価:「Aあてはまる」+「Bどちらかといえばあてはまる」を表します。

(1)健康な心と体づくり

〈職員〉

- ① 幼児は、基本的な生活習慣が身についてきた。100%
- ② 遊びや園外保育をとおして、幼児の体力は向上している。100%
- ③ 食育活動をとおして、幼児の食に関する興味関心は高まっている。100%

(保護者アンケートより)

- ・ 早寝早起きができている。84%
- ・ 毎朝、必ず朝食をとっている。92%
- ・ 幼稚園は、遊びをとおして体力作りに努めている。100%
- ・ 幼稚園は、子どもの栽培活動や収穫などをとおして食への関心・意欲を育てている。100%

保護者の「早寝早起き」の項目は昨年と比べると大きく改善されています。生活リズムが安定しているため、園生活においても生活習慣の確立につながっています。それ以外の項目については概ね昨年度と同じ評価でした。幼児にとって家庭生活と園生活はつながっており、より充実した一日を過ごすためにも、園と家庭がよりいっそう連携を深められるよう努めていきます。

以上のことから(1)健康な心と体づくりについては【B】と判断しました。

(2)魅力ある幼稚園

〈職員〉

- ① 幼児の五感に働きかける保育環境を構成したり意欲を引き出したりするかわりができた。100%
- ② 幼児は園生活をとおして、主体的に活動できるようになってきた。100%
- ③ 季節を感じられるような保育を展開し、幼児は園生活の中で、身近な自然に親しむことができた。100%

(保護者アンケートより)

- ・ 子どもは、幼稚園に行くのを楽しみにしている。100%
- ・ 子どもは、幼稚園の出来事や、先生や友達のことをよく話す。92%
- ・ 幼稚園は、交流活動や様々な行事をとおして特色ある園づくりに努めている。100%
- ・ 幼稚園は、子どもの主体的な体験活動を大切にしている。100%

他の幼児教育施設との交流活動や、様々な体験活動を充実することができました。幼児が実際に見たり触れたりすることが、五感を刺激し豊かな感性を育むことにつながったのではないかと思います。年々暑くなる夏の過ごし方が課題ではありますが、初秋に時期を変更して実施したり、長期休業中の預かり保育では室内でのさまざまなイベントを計画したりし、活動を確保できるように努めています。今後もさらに魅力ある幼稚園をめざして家庭や地域につなげられるように努めます。

以上のことから(2)魅力ある幼稚園は【A】と判断しました。

(3)認め合える仲間づくり

〈職員〉

- ① 幼児を温かく受け止め、一人一人に応じた指導ができた。100%
- ② 幼児は、人を思いやる心や友達の良さを認め合う気持ちが育ってきた。100%
- ③ 幼児は、人の話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりする力が育ってきた。100%

(保護者アンケートより)

- ・ 子どもは、人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりする力が身につけてきている。96%
- ・ 友達とのかかわりの中で、人を思いやる力が育ってきている。100%
- ・ 教師は、子どもをあたたく受け止め、一人ひとりに応じた指導ができています。100%

全項目とも高評価が見られました。ペアトーク実践園として、幼児の自己有用感を高めることをめざしてきましたが、このような結果が表れたことは子どもにとっても職員にとっても大きな自信につながったと考えています。今後も、幼児の思いに寄り添いながら、幼児・保育者・家庭がともに信頼し合える幼稚園となるように努めます。

以上のことから(3)認め合える仲間づくりは【A】と判断しました。

(4)地域・家庭との連携

〈職員〉

- ① 地域との交流や連携を積極的に行ってきた。100%
- ② 保護者との連携を密にした保育が展開できた。100%
- ③ 保護者から寄せられた意見・要望の対応や、子育てに関する支援や対応を行ってきた。100%

(保護者アンケートより)

- ・ お便りや保育参観、懇談などとおして、園の取り組みや幼児の様子を知ることができた。100%
- ・ 幼稚園は、地域との交流や連携を積極的に行っている。100%
- ・ 子育て相談がしやすい開かれた幼稚園である。100%

全ての項目で高評価を得られました。小学校や近隣のこども園との交流活動、預かり保育での「夜の幼稚園」の開催等が要因と考えられます。また、保護者の方から「子育ての相談がしやすい」項目で高い評価をいただいたことは、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、ご家庭に寄り添い、お子様の成長をともに喜び合える保育に努めます。

以上のことから(4)地域・家庭との連携は【A】と判断しました。

(5) 安全教育の実践

〈職員〉

- ① 避難訓練(自然災害、不審者対応含む)交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。100%
- ② 職員の災害に対する意識や能力は、向上してきた。100%
- ③ 幼児の災害や交通安全に対する意識や能力は、向上してきた。100%

(保護者アンケートより)

- ・ 子どもは、安全に対する意識が育ってきている。96%
- ・ 幼稚園は、子どもの安全を考えた防災、防犯活動ができています。100%

全項目において高い評価が見られました。夏季休業中に津波注意報が発令された際、小学校の3階で午睡をさせていただいたり、避難訓練も合同で行ったりしていることが、保護者にも子どもにも安心につながっているのではないかと考えます。園としても、園外保育や散歩の際、交通安全への意識につながる言葉かけや、地震火災等に対する防災訓練、不審者対応訓練等、今後も引き続き行います。

以上のことから(5)安全教育の実践は【A】と判断しました。

○ 評価

実践事項

- | | | |
|------------------|----------------|------------------|
| (1)健康な心と身体づくり【B】 | (2)魅力ある幼稚園【A】 | (3)認め合える仲間づくり【A】 |
| (4)地域・家庭との連携【A】 | (5) 安全教育の実践【A】 | |

重点目標

実践項目の評価より、本年度の重点目標「様々な体験や人とのかかわりとおして心豊かで元気な子どもを育てる」は【B】(ほぼ達成できた)と判断しました。

○ 次年度への課題

- (1)保・幼・小と連携した保育計画(架け橋期のカリキュラムの見直し、小学校への接続)
- (2)保育内容の充実と環境構成(自立心、思考力の芽生え・道徳性・規範意識の芽生え)
- (3)家庭・園・地域との連携(情報発信、社会生活との関わり)
- (4)災害対応力の向上と防犯対策(様々な状況を想定した訓練の実施、専門機関との連携)
- (5)自己有用感の育成と人間関係の構築(協同性、豊かな感性と表現)